

4・9日本医労連第二次統一行動

関西ブロックの行動に結集

4月9日(木)、関西ブロックの仲間とともに、財務省(近畿財務局)への要請行動とあわせて、ケア労働者の大幅賃上げ、診療・介護報酬の10%以上引き上げを求める宣伝行動に取り組みました。

近畿財務局への要請では、各地の現場における賃上げの実態や厳しい状況を直接訴えました。近畿財務局からは、本庁への上申を行う旨の回答がありました。

谷町四丁目・上本町で、署名の呼びかけやリレートークを行い、全体で46人(うち京都から14人がマイクロバスで参加)が結集しました。ティッシュ約300個を配布し、署名は15筆(集約中)を寄せていただきました。リレートークでは「このままではみなさんが必要な医療や介護を受けられなくなる。いのちを支える仕事にふさわしい扱いがされているかどうかが問われている。現場に犠牲を押し付けるやり方は限界!報酬10%以上は必要!」と訴えました。

参加者からは、「大阪はティッシュの受け取り方が京都と違う」「何してるの?」と声をかけてもらえたなどの声があり、対話の広がりを実感しました。やはり、みんなで集まって行動することで大きな力と励ましを得られることを改めて感じました。

